

VI 社会教育（生涯学習）

1 社会教育施策の重点

情報化・国際化・少子高齢化・価値観の多様化が進み、余暇を利用した自己実現に向けての市民による多種多様な学習需要が高まっている。このため生涯学習の推進においては、学習・教育環境の整備に努め、教養文化の学習の場である生涯学習センターや地域に根ざした公民館などを活用し、多様な学習活動を支援するための機会や情報の提供、市民各層のリーダー養成事業などを実施し、学びを通しての仲間づくりや交流、地域のネットワーク構築に努め、市民参加型の地域コミュニティづくりを推進していく。

また、青少年教育と青少年健全育成においては、社会現実を反映し、それにつれて青少年をとり巻く環境も厳しいものになっている。更に、人と人とのつながりや地域とのつながりが希薄になりつつある現状である中、地域の教育力を最大限に活用し、豊かな感性と幅広い視野を持った青少年の育成を図っていく。箱根の里や市内外の研修地などで野外活動や体験学習の機会を提供し、社会性豊かな青少年や野外教育指導者を育成していく。

併せて、地域・学校・家庭・行政が連携するなか、あいさつ運動や補導活動の充実を図り、市民総ぐるみで青少年の非行防止に努め青少年の健全育成を推進していく。

2 平成 27 年度の重点事業

(1) 生涯学習・社会教育関係

- ア 生涯学習情報の充実
- イ 各種講座・イベントの充実
- ウ 社会教育関係団体などの育成・支援
- エ 地域連携活動の支援
- オ 市民生涯学習センターなど社会教育施設の機能の充実
- カ 生涯学習推進プランの策定

(2) 青少年健全育成関係

- ア 「少年の船」「ジュニアリーダー研修」「青少年指導者養成事業」の実施を通しての青少年リーダーの育成
- イ 青少年健全育成会との連携による市民総ぐるみでの青少年の育成と非行化防止
- ウ 青少年相談室の充実と相談・補導事業の強化
- エ 児童センターでの講座やイベントなど、児童を対象とした事業の開催
- オ 学校、地域、家庭の連携体制の構築、推進

(3) 女性教育関係

- ア 女性相互の情報交換、交流と社会参加の促進支援
- イ 女性団体の自立促進支援

3 委員会・団体の構成

(1) 各委員会等の構成

平成 27 年 4 月 1 日現在

名称	構成人員	任期	主たる事業
社会教育委員	15	2	社会教育事業の審議
青少年問題協議会	32	2	青少年の指導、育成、保護に関する総合施策の樹立、調査審議
青少年相談室運営懇話会	10	2	青少年相談室の運営に関する協議
補導指導員	164	2	青少年補導、青少年健全育成
図書館協議会	7	2	図書館の運営に関する協議
公民館運営審議会	11	2	公民館事業の審議・検討
箱根の里運営協議会	15	2	箱根の里活動全般審議
生涯学習センター運営委員会	10	2	生涯学習センターの円滑な運営及び生涯学習の推進に関する調査審議

(2) 三島市社会教育委員

任期 平成 25 年 12 月 1 日～平成 27 年 11 月 30 日(平成 27 年 4 月 1 日現在)

役職	氏名	選出区分	役職	氏名	選出区分
委員長	本持 信慈	学識経験者	委員	野澤 京子	学識経験者
副委員長	渡邊 靖乃	家庭教育	委員	埜瀬 紀子	社会教育団体
委員	山下 聖秋	学識経験者	委員	馬場 宏	社会教育団体
委員	渡辺 輝彦	学校長	委員	半田 和世	社会教育団体
委員	足立 博道	学識経験者	委員	永倉えり子	学識経験者
委員	大村 敏之	学識経験者	委員	前田 暦	学識経験者
委員	後藤 素行	家庭教育	委員	高橋 徹司	家庭教育
委員	榎 教子	学識経験者			

4 生涯学習事業

(1) 生涯学習情報の提供

ア インターネットによる学習情報、行事予定、行政情報、施設案内等の情報の提供

イ 生涯学習情報宅配便（リリエムクラブ）

ウ 生涯学習指導者登録・紹介（ハロー教授バンク）

エ 生涯学習推進員活用事業

(2) 夏休み子どもセンターの開催

夏休み中の子どもたちに体験的な学習の機会を提供し、健全な心身の育成に努めることを目的に実施した。

ア 開催日 平成 26 年 7 月 31 日（木）

イ 会場 三島市民生涯学習センター 3 階・5 階フロア（参加者 179 人）

ウ 内容 楽しく習字を書こう・絵を描こう・竹細工・手作り発電・フェルト細工 など

(3) 三島いきいきカレッジの支援

市民の多様な学習ニーズに応え、講師・スタッフ・受講生が共に協力し、自主的に運営する生涯学習講座として、市民講師による各種講座を実施した。

ア 開催期間 平成 26 年 6 月～平成 27 年 3 月

イ 場所 三島市民生涯学習センター

ウ 内容 講座数 30 講座 受講生 717 人

5 生涯学習推進事業

(1) 生涯学習功労者表彰

生涯学習の推進に貢献された方を生涯学習功労者として表彰した。

- ア 表彰日 平成 27 年 2 月 7 日 (土)
- イ 会場 三島市民生涯学習センター講義室
- ウ 受表彰者 個人 4 人、2 団体

(2) 生涯学習まつり開催

生涯学習の発表

- ア 開催日 平成 27 年 2 月 7 日 (土)・8 日 (日)
- イ 会場 三島市民生涯学習センター 全館 (参加団体 12 団体、来館者数 3,666 人)
- ウ 内容
 - a 市関連団体による活動報告・音楽・踊りなどの発表
 - b 市関連団体による手芸・書道・写真などの作品の展示
 - c 市関連団体による工作・人形劇・ゲーム等のファミリーコーナー
 - d 生涯学習センターを主に活動している団体による活動内容の展示
 - e 障がい者就労支援事業所による物品等販売

6 家庭教育事業

(1) (前期) 幼児期の家庭教育セミナー

幼児期における家庭教育の理解やしつけの基礎を学ぶことを目的に実施した。

- ア 開設期間 平成 26 年 6 月 6 日 (金)～平成 26 年 7 月 25 日 (金)
全 6 回 (9 時間)
- イ 会場 三島市民生涯学習センター
- ウ 受講者 市内に住む 3 歳児 (平成 23 年 4 月 2 日～平成 24 年 4 月 1 日生まれ) を第 1 子にもつ保護者 31 人

(2) (後期) 幼児期の家庭教育セミナー

幼児期の子をもつ親の子育て、子育て、親育ちをサポートすることを目的に実施した。

- ア 開設期間 平成 26 年 9 月 26 日 (金)～平成 26 年 11 月 13 日 (木)
全 5 回 (7.5 時間)
- イ 会場 三島市民生涯学習センター
- ウ 受講者 市内に住む幼児 (3～5 歳児) をもつ保護者 20 人

(3) 幼稚園家庭教育講座

開催幼稚園	テーマ	時間数	参加者数
東幼稚園	美しい文字について	2	24
西幼稚園	健康体操	1.5	24
南幼稚園	親子で楽しむ絵本の世界	2	75
北幼稚園	アーティシシャルフラワーアレンジメント講習会	1.5	17
錦田幼稚園	体調改善と PTA 会員の交流を図る	1.5	58
坂幼稚園	リズム体操で体も心もリフレッシュ	1.5	12
松本幼稚園	はじめてのスクラップブック	2	14
沢地幼稚園	セルフリンパマッサージ講習会	2	42
ピーターパン幼稚園	安全・安心な材料で手軽に出来る軽食・おやつ	2	12

(4) 小中学校家庭教育学級

開設学校	講座内容例	講座回数	参加者数
東小学校	災害時役立つ小物作り	8	166
西小学校	食育講座「ほっこり和カフェランチ」	2	52
南小学校	小学生のママのためのお片づけ講座	3	67
北小学校	講話「はじめまして」	6	293
錦田小学校	プリザーブドフラワーで作るクリスマスアレンジ	4	67
徳倉小学校	豊かな人間関係づくりをめざすために	3	69
坂小学校	食育講座「パン教室」	3	28
佐野小学校	整理収納の基本 楽しく片付けられる環境を作る	3	50
中郷小学校	健康増進講座「ヨガ教室」	1	11
沢地小学校	健康増進講座「ピラティス」	5	74
向山小学校	食育講座「パン教室」	7	87
北上小学校	健康増進講座「ヨガ」	1	27
山田小学校	食育講座「家族がよろこぶピカタランチ」	3	59
長伏小学校	言葉を使わず 言葉を伝える	3	489
錦田中学校	茶道と子育て～気楽に一服いかがですか～	2	38
南中学校	食育講座「おいしいね、キッチンからつながる明るい未来」	2	23
北中学校	健康増進講座「自分のからだを見つめてみましょう」	4	118
中郷中学校	食育講座「おうちでほっこり和カフェランチ」	4	28
北上中学校	体操講座「ストレッチ、バランスボール、筋トレ」	2	29
中郷西中学校	講演会「言葉力～気持ちを伝えることの大切さ～」	1	477
山田中学校	タイルモザイクアート～鍋敷き～	3	46

(5) お父さんの子育て講座

家庭教育における父親の役割を自覚する機会として実施した。

- ア 開催日 第1回：平成26年8月31日（日） 参加者 父親25人・母親1人・子ども27人
 第2回：平成27年2月22日（日） 参加者 父親27人・母親1人・子ども29人
- イ 会場 三島市民生涯学習センター
- ウ 受講者 市内に住む就学前の幼児をもつ父親および保護者

(6) スマイル子育て講座「夏休み親子クッキング教室」、「親子タイルクラフト教室」

親子が共有の体験を持つとともに、円滑な親子関係を築くためのきっかけづくりを目的に本講座を開設した。

- ア 開催日 第1回：平成26年8月8日（金）午前
 第2回：平成27年1月18日（日）午前
- イ 会場 三島市民生涯学習センター
- ウ 受講者 市内に住む、小学1年生以上の子とその保護者、大人23人、子ども26人

7 成人教育事業

(1) みしま教養セミナー

ア 開催期間 日本大学関連コース 平成26年6月6日(金)～平成26年8月1日(金)
 順天堂大学コース 平成26年9月5日(金)～平成26年10月10日(金)

イ 会場 三島市民生涯学習センターほか

ウ 参加者 30歳以上の市民 223人

開設テーマ	学習方法	回数	参加人数(人)
日本大学関連コース	講義・野外学習	6	101
順天堂大学コース	講義・野外学習	6	122
計		12	223

8 女性教育事業

市内で活動・学習している女性相互の交流を通して、女性の意識向上を図るため、婦人会をはじめ女性懇話会やいきいき友の会、女性グループ交流会などの女性団体の自主的な活動を支援している。

また、女性教育として、婦人学級を開設し各種学習会をとおして資質向上を図った。

婦人学級(3学級)

名称	開設場所	学習課題	時間数	学級生数
西婦人学級	西地区コミュニティ防災センター	—	63	48
南婦人学級	南地区コミュニティ防災センター	広げよう絆の連鎖を	55	72
中央婦人学級	三島市民生涯学習センター他	「輝いて・心豊かに」 ～健康で魅力ある生き方を学ぼう～	32.5	282

9 青少年対策事業

青少年に「誇り」と「責任」と「自覚」をもって社会に役立つたくましい人間に成長できるよう学校、関係団体、地域住民の協力によって青少年の健全育成を推進した。

(1) 青少年問題協議会

市議会、関係行政機関、学識経験者等で構成され、青少年健全育成に関する総合的施策について審議並びに連絡調整を図る青少年問題協議会を年2回開催

(平成27年6月30日現在)

青少年問題協議会会長及び委員

任期 平成28年3月31日まで

番号	氏名	役職	番号	氏名	役職
会長	豊岡 武士	三島市長	16	松井 大輔	公私立保育園保育士会 つくし会会長
1	松田 吉嗣	三島市議会議長	17	篠原 誠	三島市子ども会連合会会長
2	野村 諒子	三島市議会福祉教育委員長	18	秋元 佐恵子	三島市中央婦人学級役員
3	荒 秀男	三島警察署署長	19	二村 立子	三島市女性懇話会代表(錦田 女性学級長)
4	関 義幸	三島市教育委員	20	水口 国康	放課後児童クラブ保護者会代表
5	本持 信慈	三島市社会教育委員長	21	田川 雅美	いきいき友の会会長
6	安藤 宏通	三島市校長会会長	22	荻原 美貴子	三島市地域活動連絡協議会 会長
7	杉山 由美子	県立三島北高等学校校長	23	土山 和雅	ボーイスカウト三島地区 協議会長
8	渡邊 武一郎	日本大学三島高等学校・中 学校校長	24	宍倉 睦美	ガールスカウト三島地区 連絡協議会会長

9	渡邊 義信	三島市自治会連合会副会長	25	田中 いづみ	三島市青年団体連絡協議会代表
10	新井 綾子	三島地区保護司会会長	26	服部 光弥	三島市青少年健全育成会監事
11	渡邊 善司	三島市民生委員児童委員協議会会長	27	遠藤 芳彦	三島市スポーツ少年団本部長
12	宮川 紀代美	三島市民生委員児童委員協議会理事(女性代表)	28	西島 玉枝	三島市教育長
13	工藤 洋一	三島市PTA連絡協議会会長	29	小池 満	三島市健康推進部長
14	杉山 はるか	三島市PTA連絡協議会母親委員長	30	渡辺 義行	三島市社会福祉部長
15	望月 雅子	三島市交通安全母の会連合会会長	31	佐野 康仁	三島市教育推進部長

(2) 青少年相談室

青少年相談室では、日常業務として、相談員・指導員 6 人（嘱託職員）による児童・生徒の電話及び面接相談、問題をもつ青少年の継続指導、その他青少年の健全育成に必要な事業を行い、補導としては、補導指導員（163 人）の協力のもとに市内盛り場を中心に街頭補導を実施した。

また、教育・民生・警察等から選出された 10 人の委員により構成され相談室の運営方針について協議する運営懇話会を開催

（平成 27 年 4 月 1 日現在）

ア 三島市青少年相談室運営懇話会委員

任期 平成 28 年 3 月 31 日まで

番号	氏名	役職	番号	氏名	役職
1	西島 玉枝	三島市教育長	6	萩原 宏彦	三島警察署生活安全課長
2	土屋 聰策	三島市民生委員児童委員協議会児童福祉部会長	7	木村 仁	三島市校長会代表
3	森川 清次	三島地区保護司会代表	8	篠原 誠	三島市子ども会連合会会長
4	後藤 素行	三島市社会教育委員	9	水品 春衛	三島警察署少年警察ボランティア連絡会
5	杉山 はるか	三島市PTA連絡協議会(母親委員長)	10	佐野 康仁	三島市教育推進部長

イ 平成 26 年度 電話相談受付状況 93 ケース 延べ 1,030 回

ウ 平成 26 年度 面接相談受付状況 87 ケース 延べ 1,843 回

エ 平成 26 年度街頭補導活動累計

補導の種類別活動状況

	常時補導	市街地補導	地区補導	計	前年度
実施回数	16	16	204	236	229
参加者数	63	171	897	1,131	1,099
注意指導数	58	55	17	130	85
(女子数)	20	13	6	39	23

オ 有害図書追放運動

青少年にとって有害な低俗雑誌が増え、特に自動販売機から自由に入手できることは青少年の健全育成上好ましくないため、三島市においては、昭和 57 年の青少年健全育成会発足以来、まず第一に環境浄化が取り上げられ、以来、問題行動の原点となりうる自動販売機の撤去運動が活発に行われてきた。その結果、平成 20 年 12 月末には 7 台だった自動販売機設置台数が 0 台になった。

(3) 三島市青少年健全育成会

主な活動

ア 青少年健全育成セミナー

a 日時 平成 26 年 11 月 14 日（金）午後 3 時から 5 時 20 分まで

- b 会 場 三島市民生涯学習センター 講義室
- c 出席者 小中高教育関係者、小中高PTA、自治会関係者、健全育成団体等 112人
- d 内 容 健全育成功労者表彰（4個人）
講演会 「子ども理解と子どもへのかかわり方～ナナメの関係の構築～」
講 師 浜松学院大学 教授 大野木 龍太郎 氏

イ 静岡県青少年育成会議総会

- a 日 時 平成26年6月2日（月）午後1時30分から4時10分まで
- b 会 場 静岡県青少年会館

ウ 平成26年度子ども・若者育成支援強調月間静岡県大会

- a 日 時 平成26年11月14日（金）午後1時から3時30分まで
- b 会 場 藤枝市生涯学習センター

エ 啓発活動

- ・声掛け運動の実践 平成26年9月19日（金）、12月15日（月）
- ・未成年者喫煙防止啓発キャンペーン（7月、11月）
- ・のぼり旗の掲出等による「青少年の非行・被害防止強調月間（7月）、「子ども・若者育成支援強調月間」（11月）の啓発
- ・全市一斉あいさつ運動 平成26年9月19日（金）、12月15日（月）

10 青少年教育事業

移り変わりの激しい現代社会の中であって、青少年相互に研鑽と交流を深めるとともに青少年指導者の養成を図り、明るく住み良い郷土づくりの活動が積極的にできるよう努めた。

(1) 三島市少年の船

三島市内の中学生を対象に、航海体験や洋上研修、研修地での体験学習や交流を通して、逞しさと思いやりのある豊かな情操を養い、心身ともに健全な中学生の育成を目的として実施する予定であったが、台風の影響で中止となった。

(2) みしまっ子体験塾

三島の歴史、環境、食などの資源を生かしたさまざまな体験活動を通して、郷土に親しみ、健やかな心身を育むと共に、学校や学年の異なる集団活動の中で、仲間づくりや継続して諸活動へ参加する意欲を高めることを目的に実施した。

- ア 開催期間 平成26年5月～平成27年2月（8回）
- イ 会 場 三島市民生涯学習センター、山田川自然の里 ほか
- ウ 参 加 者 市内在住の小学4年生～6年生 30人

(3) 学校週5日制対応事業（ジュニアプラザ）

中学生・高校生の校外における活動として休日に様々な体験ができる機会を提供することにより、興味関心を持つきっかけづくりと体験を通じた教養を身につけ、同年代の参加者同士の交流を深め、少年育成を図ることを目的として開設した。

- ア 開催期間 平成26年11月～12月（3回）
- イ 会 場 三島市民生涯学習センター
- ウ 内 容 書き方講座、年賀状作り講座、ケーキ作り講座（各1回）

エ 受 講 者 市内在住または在学する中学生 19 人

(4) 中学生リーダー研修

中学生を対象に野外学習、宿泊研修等を実施し、仲間との連帯意識を高め、自主性と実践性を培い、社会活動へ参加できるリーダーの育成を図った。 平成 26 年度参加者 48 人（男 27 人、女 21 人）

(5) 高校生リーダー研修

中学生リーダー研修を終了した高校生を対象に、リーダー養成研修、ボランティア研修、自然体験活動等を実施し、自己の確立や資質の向上を高め、社会参加活動に意欲的に取り組むリーダーの育成を図った。 平成 26 年度参加者 18 人（男 9 人、女 9 人）

(6) 青少年指導者養成事業

将来、青少年活動の指導者として活躍できる人材を養成するため、高校生及び成人を対象に、指導者として必要な知識や技術など実践力を養う研修を実施した。継続的な人材育成を図るため、平成 23 年度より初級認定を持つ中学生も対象としている。また、平成 24 年度からは、三島市実行委員に指導・助言を依頼し、研修の充実を図っている。

平成 26 年度参加者 24 人（男 15 人、女 9 人）

実行委員 6 人（男 3 人、女 3 人）

(7) 青少年団体の育成

社会教育団体へ、活動の活性化を図るための指導や助言を行った。

団 体 名	代表者名	対象	下部組織	人員
ボーイスカウト三島地区	土山 和雅	小・中・高・大・一般	7 団	521
ガールスカウト三島地区連絡協議会	西島 一代	小・中・高・大・一般	2 団	74
三島市青年団体連絡協議会	宇野 洋太	各種青年団体	3 団体	38

(8) わたしの主張 2014「三島市中学生の主張」大会（三島市青少年健全育成会との共催）

ア 日 時 平成 26 年 6 月 7 日（土） 9 時 30 分～12 時 00 分

イ 会 場 三島市民生涯学習センター 講義室

ウ 趣 旨 中学生が日常生活の中で考えていることを、広く市民に訴えることにより、自分以外の人や社会とのかかわりについて考え、社会の一員としての自覚を高める契機にするるとともに、青少年の健全育成に対する市民の理解と関心を深めることを目的に実施した。

エ 内 容 中学生 16 名による意見発表（市内中学校 8 校から各 2 名の代表）。発表者全員を静岡県大会の出場候補者として推薦し、三島市からは中郷西中学校 3 年三橋未来さんが選ばれた。県大会は、韮山時代劇場大ホールで開催され、優秀賞を受賞した。応募者 962 人

(9) 成 人 式

平成 6 年 4 月 2 日から平成 7 年 4 月 1 日までに生まれた市内（住民登録外参加者を含む）の 1,116 人（男 583 人、女 533 人）の新成人者を三島市民文化会館に招き、成人への仲間入りを祝して記念式典を実施した。また、式典の第 2 部として、20 年間の思い出振り返りと恩師のビデオレターを行った。

(10) 二市青年教育交流協議会

沼津、三島の東部2市が青年のリーダー養成、親睦、交流を図ることを目的に研修を実施した。
二市青年リーダー交流会 平成26年9月7日(ママチャリGP)参加者45人(うち三島18人)

(11) 青年団体(ヤングカレッジ)

市内在住又は在勤の勤労青年が、野外活動、文化講座等の企画・実施を通して、青年相互の交流を深め、自己の資質向上を図り、奉仕活動にも参加した。 平成26年度会員 15人

(12) 青年団体(OWLオウル)

青年相互の交流のほか、社会貢献活動(各種のボランティア活動、環境保全活動、青少年の健全育成活動)を積極的に行った。 平成26年度会員 16人

(13) 青年団体(和倶楽部)

陶芸を中心に着付け、茶道など「和」の講座を開講し、活動した。 平成26年度会員 7人

(14) 青年教養講座の開設(ヤングプラザ)

各種講座の学習を通して教養を身につけるとともに、心身のバランスがとれた青年の育成を図った。

学習内容	学習期間	学習時間	実施場所
スマホカメラ、パン作り、ヒーリングヨガ	平成26年8月～ 平成27年1月	各講座 1回～2回	三島市民生涯学習センター ほか

(15) 三島若者元気塾の開設

将来の三島を担う元気なリーダー・人材を育成するため開講。公開講座と6回の通常講座により、志の涵養を計り市長・塾長に各自の志を発表した。 平成26年度受講者 21人

11 児童センター事業

三島市民生涯学習センター内の遊戯室・軽運動室では、情操を豊かにすることを目的に児童に健全な遊びの中で健康の増進を図った。また、多目的ホールほかでリトミック、研修室ほかで書き方、お菓子づくり等の各講座を開設した。

(1) キディプラザ(幼児・小学生対象の継続講座)

- ア 開催講座数 2講座 各5回
- イ 会場 三島市民生涯学習センター
- ウ 参加者 86人

(2) 児童センター例月事業

- ア 年間開催数 10回
- イ 会場 三島市民生涯学習センター ほか
- ウ 参加者 1,176人

(3) すくすく広場(市内在住の満1歳以上の未就園児とその保護者を対象としたお遊び会、親子30組/回)

- ア 児童センター 年間回数 26回 参加組数 571組 参加者数 1,128人

イ	北上公民館	年間回数	11回	参加組数	83組	参加者数	166人
ウ	錦田公民館	年間回数	11回	参加組数	87組	参加者数	171人
エ	中郷公民館	年間回数	11回	参加組数	73組	参加者数	146人

12 学校支援地域本部事業

(1) 学校支援地域本部事業

学校を支援するため、学校が必要とする活動について地域住民の力を借りるための橋渡しをする組織である「学校支援地域本部実行委員会」を中心に、地域住民が学校支援ボランティアとして学校支援活動に取り組む体制づくりを推進している。

事業実施校では、授業への講師としての参加、授業の補助活動、放課後の学習支援、樹木剪定や花壇整備などの環境整備活動、生徒・保護者の教育相談、学区での職場体験学習実施のお願い等の活動が行われている。

今後、学校支援地域本部事業を市内全小中学校で実施する予定である。

事業実施校

- ・平成 21 年度から事業開始
錦田中学校
- ・平成 26 年度から事業開始
西小学校、坂小学校、沢地小学校、北中学校、北上中学校
- ・平成 27 年度から事業開始予定
東小学校、錦田小学校、徳倉小学校、佐野小学校、向山小学校、北上小学校、山田小学校
南中学校、中郷中学校、中郷西中学校、山田中学校

(2) 家庭教育支援事業

平成 27 年度から、すべての親が安心して家庭教育を行えるよう家庭教育支援員を配置し、学校等との連携により、保護者への学習機会の提供や相談対応等の家庭教育支援活動を実施する。

三島市家庭教育支援員「家庭教育アドバイザー」として、3人の元小中学校教員に活動を依頼し、「家庭教育学級」での県教委作成家庭教育ワークシートを活用した講座又は授業参観日等における家庭教育相談を市内全小中学校で実施する予定である。